

## 市田小学校区ハートフル・ミーティングの概要

- 1 日 時 平成 26 年 5 月 24 日（土）午後 2 時から 4 時
- 2 場 所 大里コミュニティセンター
- 3 参加者 41 人
- 4 会議の概要

### （1）地域の魅力を生かしたまちづくりについて

#### 市民

県道青山熊谷線の整備が、最近ようやく動き始めてきたように感じますが、それでも事業の進捗が大変遅いように感じます。そこで、工事の進捗状況がどうなっているのかお聞きしたいと思います。

#### 市長

県道青山熊谷線の整備については、中曽根地区から東松山市の岡地区までの間の整備が計画されており、熊谷市分の用地買収は既に終わっている状況です。また、中曽根地区から高本地区の間については、少しずつではありますが道路工事が始まっていますし、和田吉野川の橋の設計も現在進められているところです。いずれにしても、この県道が整備されることで、大里地区の生活利便性の向上や交通安全面の充実が図られることとなりますので、早期完成に向け、県道青山熊谷線整備促進期成同盟会からも要望を行うなど、引き続き県へ働きかけを行っていきたいと考えています。

#### 市民

大里地区には、甲山古墳という規模の大きな円墳がありますが、近くに駐車場がなく、古墳について詳しく説明した看板もありません。歴史にも出てくる有名な古墳ですが、詳しい調査もされていないようですので、調査を行って出土品を整理したり、周辺も整備すれば、観光的な要素も加わるのではないかと思います。

#### ※甲山古墳

<http://www.city.kumagaya.lg.jp/about/rekisi/bunkazai/sisekikyuseki/kabutoyama.html>

#### 市長

自治会の皆さんが中心となって、古墳の周りの下草刈りや大きな木を切っただけなどし、とてもきれいに管理していただいていることを大変ありがたく思っています。

この甲山古墳は、円墳としては、全国的にみても大変規模の大きいものから、文化財としての価値はとても高いものであると認識しています。ただ、発掘となると、個人所有ということもあり、なかなか難しい部分があるのだと思います。

これからも、地域の皆さんと連携をとりながら、この素晴らしい遺産をしっかり後世に受け継げるように努力していきたいと思っていますし、より多く

の方に知っていただけるよう、観光マップに掲載するなど PR にも努めていきたいと考えています。

市民

大里 1 号線の一部に歩道が整備されましたが、歩道をもっと先まで延長する計画があるのかお聞きします。

市長

手島地区には、荒川大橋を渡ったすぐ東側に 1 万坪を超える広さの雑種地があります。市では、その土地を企業の立地を可能とする「産業誘導エリア」として位置付けていますので、このエリアに接している大里 1 号線の一部を整備して、企業を誘致しやすいようにしたところです。今のところ、その先の道路整備については想定していませんが、この大里地域については、こうした企業誘致も進めながら、農業と産業のバランスがとれたまちづくりをしていきたいと考えています。

市民

熊谷市には大きい病院がないため、救急車がすぐ来ても、搬送先が決まらずに救急車の中で長く待たされてしまう状況です。そこで、速やかに救急患者の受け入れができるよう、医療機関の充実をお願いしたいと思います。

市長

病院のベッド数は医療圏ごとに決められており、熊谷市は充足している状況ですが、開業する先生が増える一方で、病院勤務の先生が少なくなっているため、夜間の救急患者の受入体制が非常に手薄になってしまう傾向にあります。そのため、市民の皆さんから特に夜間の救急が少し弱いのではないかという話をいただきますが、小児医療においては、熊谷保健所が中心となって曜日ごとに救急患者を受け入れる病院を振り分けるなどの体制整備を進めています。こうした医療体制の整備は、埼玉県が主体となって行っておりますので、より充実できるよう今後もよく相談をしていきたいと考えています。

市民

立正大学のところから中恩田を通って、下恩田で国道 407 号に抜ける道路があり、下恩田の人たちは熊谷の市街地方面に出かけるのにこの道路をよく利用しています。この道路は、アスファルト舗装はされているのですが、防犯灯がないためにとっても暗くて危険です。そこで、危険防止のために防犯灯の設置をお願いしたいと思います。

市長

防犯灯については、自治会で設置していただくものと行政が設置するものとに分かれますが、まずは自治会で相談をしていただければ有り難いと思います。大里と江南地区は、熊谷や妻沼地区に比べて行政が管理している防犯灯の割合

が高くなっていますので、これからは、市全体のバランスも踏まえて、防犯灯の設置や管理のあり方について検討をしていかなければならないと考えています。

市民

旧大里村役場があった場所は、立木を切ったり建物を壊したりして更地になっていますが、今後どのように利用するのかお聞きします。

市長

時期的なものは分かりませんが、一般的には普通財産※にして、公売にかけることになると思います。いろいろ建築や開発などの条件があると思いますが、例えば家が建てばある程度にぎわいも生まれますので、この場所に限らず、こうした公有地につきましては、基本的に売却をしていきたいと考えています。

※「普通財産」とは、行政財産以外の公有財産をいいます。行政財産と異なり特定の行政目的に直ちに用いられるものではなく、地方公共団体が一般私人と同等の立場で所有するものです。「普通財産」は、これを貸し付けたり、売り払ったり、私権を設定したりすることができます。

## (2) 安全・安心な地域づくりについて（主に防災）

市民

大里中学校周辺の道路に防犯灯が整備されてきていますが、中学校の北側の市道には防犯灯が設置されていません。特に冬は暗くなるのが早く、非常に危険ですので早急な対応をお願いします。

市長

先ほどもお話しましたように、この大里地区は、他の地区に比べて市が管理している防犯灯の割合が高く、全体が約14%なのに対して、約31%となっています。

市としましては、防犯灯を設置するための補助制度を充実させたり、今年度からは、防犯灯をLEDに交換する際に、自治会で負担していただく分を無利子で貸し付けをする制度も新たに設けておりますので、こうした制度を是非活用いただき、なるだけ自治会で設置していただければ有り難いと思っています。

こうした防犯灯に関する要望は、この大里地区に限らずいろいろな地区であります。それぞれの地区で様々な経緯や課題があると思いますので、それらも踏まえ、市全体のバランスも考えながら、ケースバイケースで判断をしていきたいと思っています。

市民

2月に大雪が降ったときに、私の地区では2回ほど自治会の費用で除雪をしましたが、そのときに、旧大里町の時代には行政が雪かきをしてくれたのにと、

不満の声を多く聞きました。本日の資料を見ると、大規模災害の発生時の対応は、自助が7割、共助が2割、公助が1割となっています。大規模災害の場合にはこの割合が当然想定されますが、先日の大雪のような一般的な災害の場合には公助の割合がもう少し多くてもいいのではないかと思います。

市長

災害の規模について大規模と小規模に分けることは難しいと思いますが、今回の大雪では、被害が全市に及んでいましたので、大規模災害の部類に入るのはないかと思います。今回の除雪に関して、市民の皆さんが不満をお持ちのことは十分承知をしており、その点についてはお詫びを申し上げたいと思います。しかしながら、10年前と現在では状況も相当違っており、除雪を土木業者に依頼した際に、重機を必要な時にリースする業者が多く、自社で所有している業者は少ない状況でした。一方で、水道工事店などは少し小さく目でもすぐに動かすことができる機械を持っているということが分かりましたので、こうした反省点等について危機管理室を中心に取りまとめて検証しているところです。今後、こうした教訓を踏まえ雪害対策を市の防災計画の中に新たに盛り込み体制を整えることで、少しでも市民の皆さんの負担が少なくなるように努力したいと考えています。

市民

中曽根地区の防災行政無線が老朽化し、放送がよく聞こえないことがあるなど非常に調子が悪くなっており、そのことを市に問い合わせましたが、部品がないため修理ができないとのことでした。代わりに、市のメール配信サービスの「メルくま」\*などを利用してほしいと言われましたが、実際に耳から聞こえる情報伝達の手段がなくなってしまうと地域として大変不安です。

※熊谷市メール配信サービス「メルくま」

<http://www.city.kumagaya.lg.jp/kakuka/sogo/kohokoty/mailkuma/index.html>

市長

設置されている機械が非常に古い機種であるために、メンテナンス期間が終了して部品がないため修理ができない状況です。来年度から防災無線のデジタル化の工事を始めますので、その際に工事の順番を配慮するなどの対策を少し考えてみたいと思います。

市民

防災無線のデジタル化工事を発注するときには、安いだけでなく、例えば機械の壊れにくさや保守点検の期間の長さなども考慮して、工事業者を選んでいただければ有り難いと思います。

市長

デジタル化の工事については、各事業者から企画提案をしてもらう「プロポ

一ザル方式」を取り入れ、ただ安ければいいということではなく、例えばバッテリーが長持ちすることや下請け工事を地元企業に発注する割合が高いなど、付加価値も含めた形で事業者の選定を行っています。

#### 市民

堤防や耕作放棄地では冬場になると多くの枯草が残っており、特に手島地区は、堤防に沿って家が立ち並んでいるので火災が起きると大変危険です。3年ほど前に自治会で野焼きをしたこともあったのですが、危険なので消防署や市役所に焼却してほしいとお願いしましたが、どちらもできないと断られてしまいました。毎年、不安な気持ちで冬を過ごしている状況ですので、何か良い対応策がないかお聞きします。

#### 市長

堤防の草刈りは管理者である国土交通省が行いますが、予算の関係から年に2回程度となっていますので、いただいた御意見を踏まえて、より効果的な時期に草刈りをしてもらえるようお願いしてみたいと思います。

また、昔は文化の一つであった野焼きも、今ではその危険性や環境面からなかなか許可してもらえないのが実情だと思います。野焼きの可否も含め、堤防の火災予防策について国土交通省とよく話をしてみたいと思います。

### (3) 地域活動等の報告

#### 市民

市田小学校区連絡会の事業報告を行います。

- ①第1回三役会議を開催
  - ②総会を開催
  - ③あっぱれ熊谷流プロジェクト校区花いっぱい事業へ支援
  - ④熊谷市青少年健全育成市民会議主催のレクレーション指導会講習会へ参加
  - ⑤スポレクフェスティバル校区対抗グラウンドゴルフ大会事前会議を開催
  - ⑥市田小学校教育の日へ参加支援
  - ⑦市田小餅つき大会へ参加支援
  - ⑧スポレクフェスティバル校区対抗綱引き大会へ参加
  - ⑨スポレクフェスティバル校区対抗グラウンドゴルフ大会へ参加
  - ⑩あっぱれ熊谷流プロジェクト校区花いっぱい事業へ支援
  - ⑪世代間交流昔の遊びを教えてください会へ参加支援
  - ⑫熊谷市青少年健全育成市民会議第2回地域の子どもと大人のふれあい活動発表会へ参加
  - ⑬市田小だより市田っこを回覧
  - ⑭第2回三役会議を開催
- 以上のおり実施しました。

## ○市長のまとめ

貴重な時間をいただき、いろいろな御意見を伺わせていただきまして、本当にありがとうございました。様々な宿題もいただきましたので、これを持ち帰って相談し、会長さんを通じて御返事させていただきたいと思っています。

地域の皆さんが地域のことについて思いを巡らせていることが良く分かりまして、大変うれしく思っています。前回のハートフル・ミーティングでは、堤防上の交通安全対策の要望がありましたので、農耕車との衝突を回避できるよう、6か所ほど「農耕車注意」と路面に標示しました。皆さんからいただいた意見をこのように少しずつ形にしたいと思っています。

また、日頃、地域の皆さんには、子供たちの見守りなどでいろいろとお世話になっており、本当にありがたく、厚くお礼を申し上げたいと思っています。少子化の中で、これからの子供たちがこの熊谷市を、そしてこの日本を背負っていくこととなりますが、私たち以上に今の子供たちは、負荷が大きくなって大変になるだろうと思います。しっかりとした子供に育てるために私たちが常に声をかけながら、見守ったり励ましたりする必要もあるのだろうと思っています。もちろん私たちも一生懸命に頑張っていきますので、学校の現場の先生方と地域の皆さんがいろいろと意見交換をしながら、是非、市田小学校や大里中学校を育てていただけるようお願いをしたいと思います。それでは、貴重な時間をいただきましたことを心から感謝申し上げ、お礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。